

吹奏太郎

第15号

2001. 2. 28

～ソロコンテスト特集号～

発行 栃木県吹奏楽連盟広報部
発行責任者 手塚 豊

創造する栃吹連

理事長 手塚 豊

「新しい詩歌の時は来たりぬ」と声高らかに宣言し、島崎藤村は「新体詩」を創造しました。

吹奏楽連盟に在っては、栃吹連が第1回ソロコンテストを、東関東吹連に在ってはB部門の第1回東関東大会（仮称）が二十一世紀の夜明けに呼号してスタートします。

何か意義深いものを感じております。

ソロコンテストについては、役員の方々のご尽力と児童生徒のみなさんの情熱に支えられ、70名を越す参加を見ることができました。

栃吹連は東関東吹連では一番規模の小さな連盟ですが、連盟の規模と音楽の質は全く別のことであって、リーダー講習会の参加生徒の目の明るい輝きは、上げ潮の栃吹連の動きをさらに加速するものが内在すると思えてなりません。

皆で創造する栃吹連、手を取り合って課題に当たり、前進を続けましょう。



支部だより 安蘇佐野支部

支部長 与儀和弘（葛生高）
副支部長 尾花 久（植野小）
久保忠士（佐野北中）

私たち安蘇佐野支部は、小学校・中学校・高校・一般団体から構成されていますが特に小学校の加盟校が多いことが特徴です。今年度は、佐野秀郷まつりや佐野市吹奏楽祭など各種演奏会への参加をはじめ、尚美学園のフルート専攻生による児童生徒及び指導者向けの講習会やソロコンテスト地区予選、アンサンブルフェスティバルを開催しました。これらの活動を通して奏法技術や指導技術の向上を目指すとともに、会員相互の親睦を深め、情報交換の場としていきたいと考えています。

地域音楽文化の発展に少しでも貢献できるように、部員一同力を合わせてより充実した活動を推進していきたいと思っております。

★ 特集 第1回 栃木県ソロコンテスト

第1回県吹奏楽ソロコンテストが、2月19日(日)宇都宮市文化会館において開催されました。結果は以下の通りです。(各賞内は出演順)

◇小学校部門

グランプリ	宇都宮市立姿川第一小	岩野 祐子 (クラリネット)
準グランプリ	宇都宮市立昭和小	栗原 香恵 (ホルネット)
金賞	栃木市立大宮北小	牧島 夏紀 (シロフォン)

◇中学校部門

グランプリ	宇都宮市立雀宮中	関谷 理那 (テナーホーン)
準グランプリ	作新学院中等部	酒井 瞳 (ホルネット)
	宇都宮市立若松原中	今井 斐 (ホルネット)
	益子町立益子中	高島 聡美 (マリンバ)
金賞	今市市立豊岡中	倉澤 未来 (フルート)
	小山市立乙女中	矢部麻里絵 (クラリネット)
	今市市立今市中	吉尾 慶太 (アルトサククス)
	作新学院中等部	鈴木麻海子 (アルトホルン)
	宇都宮市立城山中	古田 裕史 (トロンボーン)

◇高等学校部門

グランプリ	作新学院高等部	星 美幸 (オーボエ)
準グランプリ	宇都宮北高	木主 里絵 (クラリネット)
金賞	宇都宮南高	鵜沼真理子 (ホルネット)

『喜びの声』 コンテストに出場し、受賞されたみなさんの喜びの声をお届けします。

宇都宮市立姿川第1小学校 岩野 祐子

私にとってこの日は、とてもびっくりした一日でした。理由は、結果発表のときです。演奏しているときは、とても緊張して失敗も多かったと思います。なので、金賞は無理だと思いました。結果発表になり、賞状をもらうとき「銅賞」とすけて見えました。やっぱりそうだとがっかりしていると「金賞」と言われ、びっくりしました。すけて見えた賞状は他の人のものだったらしくて、それでも信じられない気持ちでした。グランプリの発表のときも私の名前が呼ばれて、びっくりして少し涙が出てきました。

こんなすばらしい賞をもらったのは、部の先生、応援してくれた仲間たちのおかげだと思います。私も一生懸命練習してよかったなと思いました。これからはずっとクラリネットを続けていきたいと思っています。

宇都宮市立昭和小学校 栗原 香恵

「準グランプリは七番。」という発表に、私は本当にびっくりし、感激しました。

テープ審査のとき、友達からは「大変だね。」と言われましたが、私は楽しくてしかたがありませんでした。ソロコンテストに向けての練習でも、もっと上手になりたいと思ってがんばりました。放課後遅くまで指導して下さった先生方に感謝するとともに、これからも先生方のアドバイスをよく聞き、基本の練習を積み重ねていきたいと思っています。

宇都宮市立雀宮中学校 関谷 理那

私は今回、この第一回ソロコンテストに出場させてもらい、グランプリというすばらしい賞までいただき、とてもうれしいです。それに、いろいろな人たちの演奏も聴け、とても勉強になりました。また来年も出場させていただければとてもうれしく思います。

作新学院中等部 酒井 瞳

私は今回このソロコンテストで初めて個人の賞をいただきました。以前、一度出場したコンテストではとてもひどい演奏をしてしまったので、今回のコンテストではリベンジも兼ねて、悔いの残らぬように一生懸命練習して本番を迎えました。

私が今回準グランプリという賞をいただくことができた陰には、私にずっとレッスンしてくださった藪内先生、そしてピアノ伴奏をしてくださった益子先輩がいました。本当に、心から感謝しています。これからは、人の心を動かすことのできるような演奏を目指して、毎日練習していきたいと思っています。

宇都宮市立若松原中学校 今井 斐

今回、このソロコンテストで準グランプリ賞をいただきました。とてもうれしいです。これからもがんばりたいと思います。

益子町立益子中学校 高島 聡美

今回のソロコンテストで金賞、そして準グランプリ賞をいただき、とてもうれしく思います。中学生になって始めたパーカッション。ソロコンテストが開かれると聞き、自分の実力を試してみたかったし、一人で独奏するプロの方にあこがれていたことがあり、マリンバで出場することを決めました。毎日の練習がたつらくて途中でくじけても、「みんなを感動させる演奏がしたい」という強い思いで乗り越えがんばりました。

今回いただいた結果は、自分の努力と先生方の御指導、吹奏楽部のみんなや多くの方々への御支援、御協力のもとついてきた結果です。次の大きな目標に向けてがんばっていききたいと思っています。

作新学院高等部 星 美幸

今の私の目標は「音楽を自分らしく表現すること」です。今回のコンクールでは本番前にとっても緊張しましたが、実際、本番では緊張するよりもむしろ楽しく、自分らしい演奏ができたと思いました。

私の音楽に対する課題はまだたくさんありますが、今回の経験を生かして自分の音楽を追求していきたいと思っています。

宇都宮北高等学校 木主 里絵

中学校のころからクラリネットを始め、ずっと吹奏楽をやってきて、まさか私が一人でステージに立ってソロを吹くななんて思ってもいませんでした。本番は、一人で淋しかったけど、とにかく楽しく自分の演奏をしようと思いました。でも実際、もう緊張のあまり頭の中は真っ白で、意識が戻ったころにはもう演奏が終わっていたので、自分がどのような演奏をしたのかよく覚えてないのです…。悲しいことに。でも、この賞をもらったときは、本当にびっくりしました。今まで、クラリネットを吹いていてよかったなあと思った瞬間でした。



県吹奏楽アンサンブルコンテスト終わる

第32回栃木県吹奏楽アンサンブルコンテストが、12月16日(土)17日(日)の二日間にわたって黒磯市文化会館で開催されました。結果は以下の通りです。

(各賞内は出演順、☆印は県代表)

◇小学校部門

金賞 栃木市立大宮北小(打)、☆五代小(金管)、☆清原東小(金管)、
☆作新学院小学部(金管)、☆真岡小(木・金・打)

銀賞 今市第三小、姿川第一小(2団体)、清原東小、昭和小

◇中学校部門

金賞 姿川中(打)、今市中(F1)、陽北中(C1)、☆陽西中(C1)、
宮の原中(C1)、☆真岡東中(Sax)、☆陽西中(Sax)、益子中(Sax)、
☆逆川中(Sax)、☆益子中(Euph・Tu)、☆宮の原中(金管)、
鬼怒中(金管)、逆川中(金管)、雀宮中(金管)、☆陽南中(金管)、
☆若松原中(金管)

銀賞 乙女中、壬生中、陽東中、小山中、鬼怒中、豊郷中(2団体)、小山第三中、
星ヶ丘中、小山城南中(2団体)、藤岡第一中、作新学院中等部(2団体)、
石橋中、今市中、鹿沼西中、清原中、姿川中、横川中、真岡東中、上河内中

◇高等学校部門

金賞 ☆今市高(打)、☆宇都宮北高(打)、☆石橋高(F1)、石橋高(Sax)、
☆真岡女子(Sax)、☆作新学院高等部(Sax)、☆真岡高校(Sax)、
今市高(Sax)、☆宇都宮南高(金管)、☆矢板中央高(木・金・打)

銀賞 宇都宮南高、真岡女子高、茂木高、栃木南高、宇都宮北高、宇都宮工業高、
宇都宮中央女子高、作新学院高等部

◇大学部門

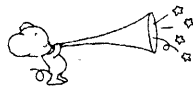
金賞 ☆国際医療福祉大学(Sax)

銀賞 ☆國學院大學栃木短期大学

◇一般部門

金賞 ☆サウンドウィズ(F1)、
☆アンサンブルヴェリテ(C1)、
☆宇都宮音楽集団(C1)、
☆今市ウィンドアンサンブル(C1)、
☆f-clef(Euph・Tu)

銀賞 小山市交響吹奏楽団、
宇都宮フルートアンサンブル「銀笛」、
宇都宮音楽集団、
氏家ウィンドオーケストラ、
バズ・ブレイザー、
サウンドウィズ、
セルバッサ音楽隊



◎編集後記◎

本号は、ソロコンテスト特集号として発行することができました。

すばらしい演奏をされた皆様、お忙しいところ快くご寄稿くださった手塚理事長のおかげで充実した内容をお届けでき、うれしく思います。ありがとうございました。今後の指導に生かしていただければ幸いです。また今回、ソロコンテスト特集のために発行が遅くなりました点、お詫びいたします。

いよいよ21世紀が始まりました。新しい気持ちで楽しく充実した吹奏楽活動が推進されますよう御祈念申し上げ、編集後記といたします。

植竹 記